

<概要>

- 1 日から 3 日、カストロ大統領らはウルグアイのオルシ大統領就任式に出席した。
- 3 月 9 日、大統領・総選挙予備選挙が全国で実施された。主に首都テグシガルパと国内第 2 の都市サンペドロスーラ（SPS）において、選挙管理委員会（CNE）からの選挙資機材が届かず、多数の投票所が開場できない問題が発生した。
- 予備選挙結果の公式発表は 4 月 8 日であるが、投票傾向から事実上、与党リブレ党はリキシ・モンカダ候補、国民党ナスリー・アスフラ候補、自由党はナスララ候補が勝利者となった。
- 3 月 18 日、レイナ外務・国際協力大臣は米国でノーム米国土安全保障長官と、移住、安全保障、税関協力の分野における関係強化を目的とした会合を持った。
- 3 月 23 日、米国によるベネズエラ人への強制送還が再開した。同強制送還者はホンジュラスを経由してベネズエラに強制送還された。今回もソト・カノ空軍基地（パルメローラ空港と併設）で米機からベネズエラ機への乗り換えが行われた。

<本文>

1 外交

（1）カストロ大統領のウルグアイ大統領就任式出席

3 月 1 日から 3 日、カストロ大統領はレイナ外務・国際協力大臣、トーレス同筆頭次官、セラヤ大統領私設秘書らを伴いウルグアイのオルシ大統領就任式に出席した。カストロ大統領は、ウルグアイ訪問中にペトロ・コロンビア大統領、アルセ・パラグアイ大統領らと会談した。

（2）レイナ外務大臣と米特使との二国間協議

3 月 12 日、OAS 特別総会出席のため米国を訪問中のレイナ外務・国際協力大臣が米国クラベルカネロ中南米担当特使と会談し、二国間関係について協議した。

（3）レイナ外務・国際協力大臣とノーム米国土安全保障長官との会談

3 月 18 日、レイナ外務・国際協力大臣は米国でノーム米国土安全保障長官と会談した。会談の目的は、安全で秩序ある正規の移住を促進する両国共通の取組みの中で、移住、安全保障、税関協力の分野における関係強化であった。会談の中で、両者は、帰還プロセスが尊厳ある方法で、人権と安全を尊重しながら実施されるよう協力していくことを再確認した。

（4）ホンジュラスで乗り換える米国からのベネズエラ人強制送還便の再開

3 月 23 日、新たなベネズエラ人 199 人がホンジュラスを経由してベネズエラに強制送還された。今回の乗り換えもソト・カノ空軍基地（パルメローラ空港と併設）で行われた。米國務省西半球局は公式

X ポストで「ホンジュラス経由で、ベネズエラ人不法移民を強制送還するフライトが再開された。これらの人々には米国に滞在する法的根拠がなかった。今後もベネズエラへの強制送還のフライトが継続される予定である」と発信した。

2 予備選挙関連

(1) 選挙の混乱

ア 3月9日、大統領・総選挙予備選挙が全国で実施されたが、主に首都テグシガルパと国内第2の都市サンペドロスーラ（SPS）において、選挙管理委員会（CNE）からの選挙資機材が届かず、多数の投票所が開場できない問題が発生した。結果的に、最も遅くに開場した投票所は21時を過ぎての開場となり、最後の有権者が投票できたのは日付が変わった未明であった。また、報道によると投票キットが届かず、開場できなかった投票所もあった。投票日に開場できなかった投票所のうち2投票所については翌週の日曜日に投票する事態になった。

イ 検察、会計検査院が今回の混乱について捜査をはじめた。他方、ロペス CNE 委員長（国民党系）は、選挙のロジに責任を負う国軍のサボタージュやリブレ党の計画的犯行を示唆する X ポストを発信する一方で、オチョア委員（リブレ党系）は CNE の調整能力の欠如であり、国軍に非はない旨反論するなど CNE 内の意見の対立が表面化した。

ウ 3月24日、レンドン国会議長は今回の選挙の混乱の調査のため国会に特別委員会を設置することを発表した。しかし、野党側は、調査結果をロペス CNE 委員長（国民党系）やホール委員（自由党系：本年9月に就任予定の次期委員長）を更迭し、リブレ党系の委員を任命するための方便に利用しようとしていると激しく批判した。

(2) 大統領予備選挙結果

3月12日、自由党の有力大統領候補であったホルヘ・カリクス候補が敗北宣言を出し、サルバドール・ナスララ候補が自由党大統領候補になった。選挙結果の公式発表は4月8日であるが、自由党候補の実質的決定によって、与党リブレ党はリキシ・モンカダ候補、国民党ナスリー・アスフラ候補、自由党がナスララ候補と各政党で事実上の勝利者（大統領候補者）が出揃った。本選挙は今回予備選に参加しなかった少数政党からの候補も含めて11月に実施される。

3 内政・経済

(1) 2024年の農業経済活動の減少

3月6日、ホンジュラス中央銀行は、月次経済活動指数レポートでコーヒー、油ヤシ、メロン、スイカ、バナナの生産量の減少により、2024年の農業経済活動は1.2%減少すると発表した。全体的な要因として、気候変動による天候不順と労働力不足が原因としている。個別に見ると、油ヤシの国際価格低下や、台湾との断交によるエビ輸出の減少も指摘されている。

（２）2024 年の海外直接投資（FDI）の減少

ホンジュラス中央銀行の国際収支報告書によると、2024 年の外国直接投資（FDI）は 8,250 万米ドル減少し、年間 9 億 9,390 万米ドルになる見込み。2023 年の 10 億 7,640 万米ドルと比較して 8,250 万米ドルの減少となった。

（３）抗議活動に対する取り締まり

３月３１日、ホンジュラス国家警察は、抗議活動の参加者を撮影し、プロフィールをおこない、検察と共有すると発表した。これに対して有識者、人権活動家などは、市民による集会や抗議活動を委縮させ、憲法で保障された集会の自由など市民の権利を侵害する措置であると批判した。

＜主要経済指標＞

◇主要経済指標	2024 年	2025 年		
		1 月	2 月	3 月
インフレ率（前年同月比）	3.9	3.9	—	—
貿易収支（百万ドル）	▲6,671.4	—	—	—
輸出（百万ドル）	11,082.5	—	—	—
輸入（百万ドル）	17,753.9	—	—	—
外貨準備高（百万ドル）	8,049.0	7,962.6	8,304.4	—
外国からの送金（百万ドル）	9,510.2	—	—	—
為替レート（対ドル月平均）	25.42	25.56	25.68	—

（出典：ホンジュラス中央銀行）

（了）